

ふっさ桜まつりに公民館本館のサークルが参加しました

4月5日(金)から4月14日(日)にかけて、第30回ふっさ桜まつりが開催されました。4月6日(土)と7日(日)は悪天候のため残念ながら中止になりましたが、4月13日(土)、14日(日)には公民館本館で活動している公民館サークルがイベントに参加し、来場者を楽しませていました。

明神下公園では「ハイブリッドジャズオーケストラ」によるビッグバンドジャズの迫力ある演奏や、「ふっさ草笛サークル」の草笛演奏が行なわれ、「横田西多摩エイサー太鼓」が太鼓の音を響かせていました。また、五日市線鉄橋より睦橋の堤防沿いでは「福生ひよっこ連」のにぎやかなパレードが行われました。

公民館本館のサークルが、地域のイベントで活躍している様子はうれしい限りです。



↑ふっさ草笛サークル
葉っぱ一枚ですてきなメロディーを披露



↑ユーモアたっぷりに踊る福生ひよっこ連



↑横田西多摩エイサー太鼓のダイナミックなパフォーマンス

◎本館まつり◎

日時：7月20日(土)・21日(日)
時間：午前10時～午後4時
場所：市民会館・公民館



演奏、展示、模擬店、子ども遊びコーナー
楽しい催しがいっぱいです。
←昨年の本館まつりの展示

第1回本館利用者連絡会が開催されました
公民館では市民の学習・文化活動の拠点として多くのサークルが活動しています。公民館本館の登録サークルが交流し、より良い活動のあり方を考えていく場として、本館利用者連絡会を年6回偶数月に開催しています。(会長「八彩倶楽部 板垣和生氏」)
この利用者連絡会は全サークルの中から選出された運営委員により主体的に運営されています。今回は42団体の代表が参加しました。



↑利用者連絡会の様子 (4月13日)

市民音楽講座を取材しました

4月14日(日)に行われた「市民音楽講座」の初回を取材しました。

4才のお子さんからシニアまで、幅広い層の方々が100名以上参加されています。

まず、高橋先生の「皆さんの気持ちを一つにして、笑顔で、和気あいあいとした講座にしていきましょう」との言葉がけから、講座が始まりました。

ソプラノ、アルト、テノール、バスの各パートに分かれて、映画「となりのトトロ」の挿入歌「さんぽ」の歌唱練習からスタートし、楽しく声を合わせました。

初めての方にとっては難しそうな四部合唱ですが、先生が「深く考えすぎずに、悩まずに歌ってほしい」と声をかけたり、先生が参加者の近くで直接語りかけたり、繰り返し練習を重ねることで、生き生きと気持ち良く歌える雰囲気になりました。

「かわいいかくれんぼ」の歌唱練習では、先生が小さい女の子に「歌ってみて」と声かけすると、物怖じせずかわいい声で堂々と歌いきり、一斉に拍手が送られました。



市民音楽講座の様子。笑いが絶えない楽しい講座です。

この講座は、受付などのボランティアスタッフさん、会場設営を引き受けている男性参加者の方々など、様々な市民の方々に支えられています。

今回の取材で、皆さんの意欲的な様子が伝わり、6月16日(日)の市民音楽祭では最高の合唱を披露できることを確信しました。

(取材：笹本)

参加者のコメント

■3年前の講座の時に、知り合いから誘われて、見学だけのつもりで行ったのですが、講座の様子に引き込まれて、その時から毎年参加しています。この講座の魅力は、子どもから年齢を重ねた方まで、100人を超える幅広い年齢層の方が市民音楽祭での発表という一つの目標に向かって進んでいくことです。

みんなが一体となって、大成功になるようにがんばっていきたいと思います。
■昨年の市民音楽祭を見て感動して、あこがれていた高橋先生がいらっしやっただので、今回初めて参加しました。
初回の講座に参加してとても楽しかったです。今後の講座にも意欲的に参加していきたいです。

市民音楽講座講師の高橋逸子先生に講座にける思いを語っていただきました

◎講座にかかわるきっかけは？

福生市音楽愛好者連絡会の会議で出た『子どもから大人まで参加できる音楽講座を』という話がスタートです。様々な世代の方が参加しやすいように、身近な歌を合唱する音楽講座を立ち上げ、平成17年から講師として関わるようになりました。

◎講座の際に大切にしていることは？

毎年参加される方も多く、中にはご夫婦や親子など家族で参加される方もいます。皆さんが毎回の講座を楽しんで、合唱の魅力を知っていただくことを大切にしています。

◎皆さんへのメッセージ

音楽祭当日は、みんなで作り上げた合唱を通して、舞台と会場が一体となって心地良い時間を共有できたらと思っています。



高橋逸子先生